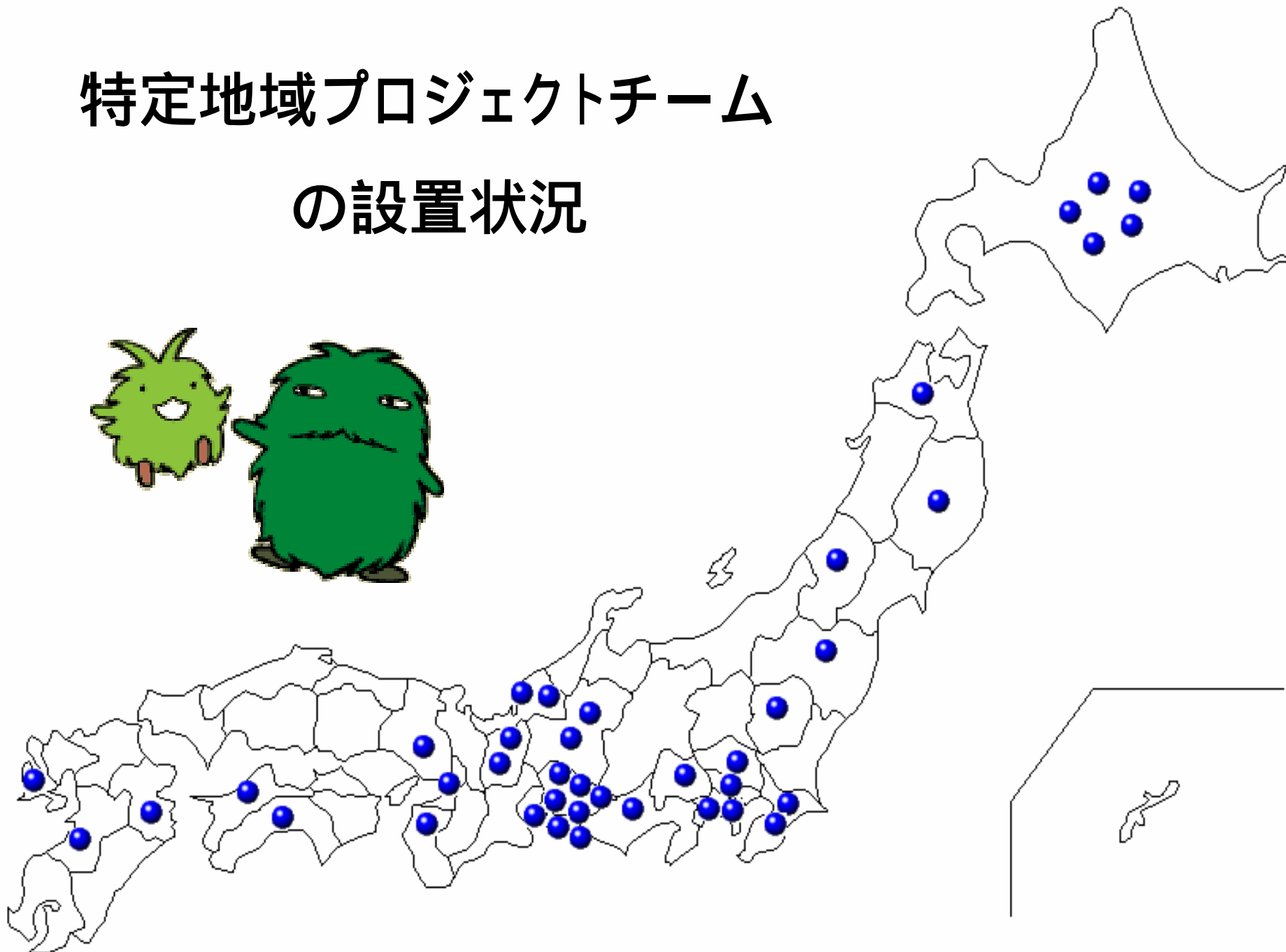


愛知県の 特定地域プロジェクトチーム



愛知県企画振興部
地域振興課

特定地域プロジェクトチーム の設置状況



犬山市
犬山城下町再生計画

一宮市
駅周辺のストック
を活かした「歩いて暮らせる中心市街地にぎわい再生計画」

愛知県【単独】
(名古屋市・瀬戸市・豊田市・常滑市・長久手町)
産業観光資源を活用した地域づくり計画

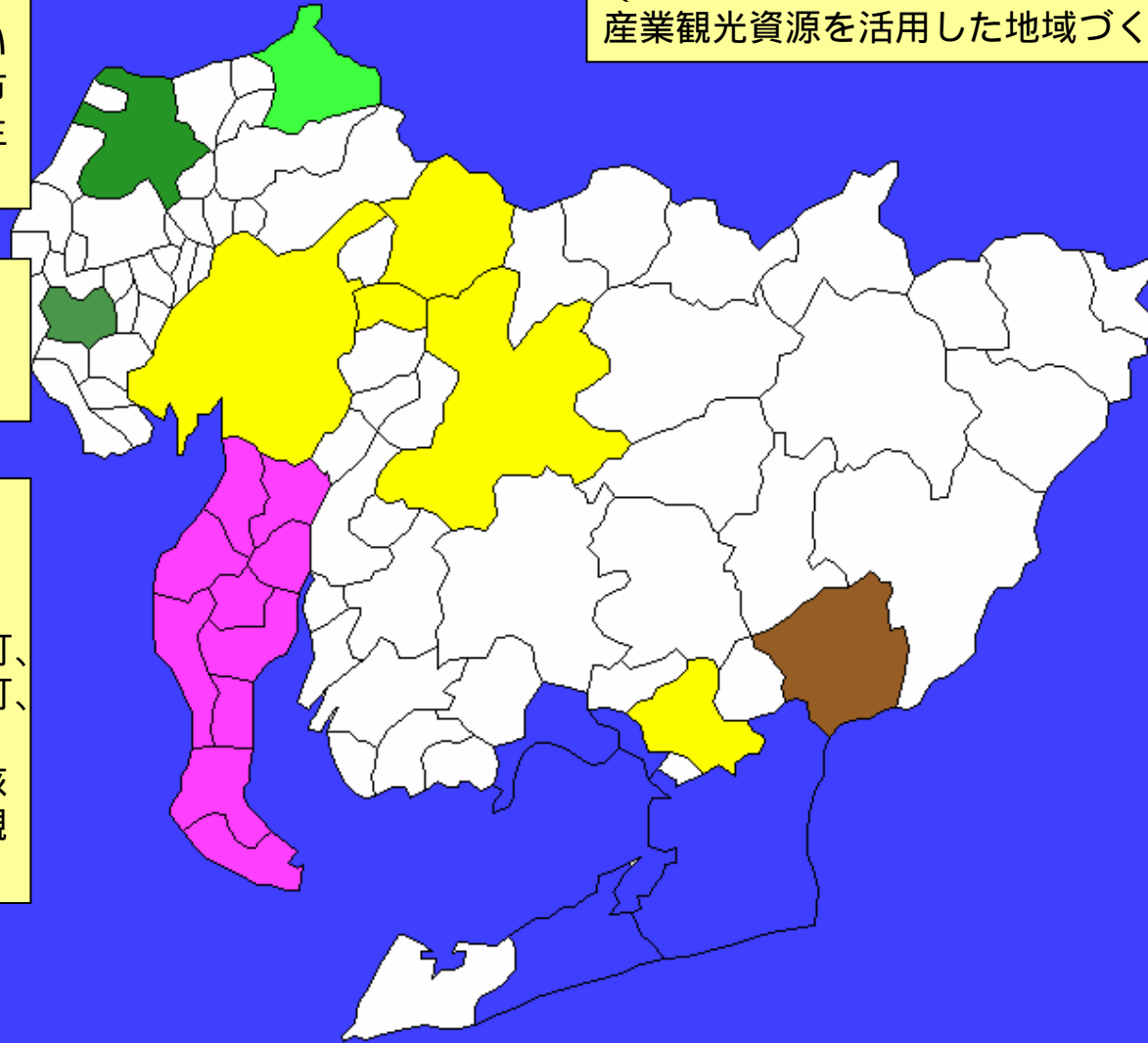
新城市
森林総合産業の創出

津島市
交流湊つしま
彩生計画

豊川市
とよかわイナリズム(豊川稲荷住む)~住んでいいじゃん!訪れてもいいじゃん!~

愛知県、半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町【共同】
中部国際空港を核とする知多半島観光再生計画

愛知県、豊橋市、蒲都市、田原市、御津町【共同】
国際自動車産業交流都市計画



愛知県内の地域再生計画



とよかわイナリズム(豊川稲荷 住む)～住んでいいじゃん！訪れてもいいじゃん！～ (豊川市) 特定PT

【概要】本市は、日本三大稲荷の豊川稲荷により「観光のまち」として賑わってきたが、観光客が減少しており、地域経済も低迷している。このため、市内の歴史や文化、それを支える市民活動等を再度見直し、情報発信するとともに、市民や商業者が行うまちづくり活動を規制緩和等で支援し、観光による交流人口を世界規模で増加させる。こうした文化・伝統を背景とした地域コミュニティの増進を図り、まちづくり交付金等を活用して基盤整備を推進し、定住人口の増加を図る。これら交流及び定住人口の増加の好循環を誘発し、地域経済を再生させる。



DO S地域再生プラン(Do Outdoor Sports) (新城市)

【概要】高齢化と若者流出等により、まちの活気が失われつつある中で、本市には広大な山林や清流といった豊かな自然があり、この自然を利用してパラグライダーやカヌーといったアウトドアスポーツが流行りつつあることから、アウトドアスポーツのまちづくりを進めることで、経済の活性化と雇用創出を図る。具体的には、ラリーやカヌー、パラグライダー等の全国大会を誘致し、アウトドアスポーツの環境整備と流入・交流人口の増加につなげ、若者が集う元気なまちの実現を目指す。



森林総合産業の創出(新城市) 特定PT

【概要】本計画は、森林の多様な機能と多様な価値に着目し、地域の人材と森林資源を最大限活用する新たな産業をつくりだすため、「人材の発掘と育成」(森林職能者リストの作成・活用、森林体験学習の実施、自然観察・レクリエーション、地域通貨の導入など)と「森林にかかわる新産業開発と展開」(木質バイオマス利用、異業種連携、流域連携、産学官の連携)に取り組むもの。これにより、従来の環境消費型産業から環境育成型産業への転換による地域経済の活性化と新規雇用機会の創出および持続可能な地域生態社会の実現をめざす。



愛知県内の地域再生計画



次世代型とよはし農業創造計画(豊橋市)

【概要】 農業産出額日本一を誇る本市の農業を維持発展させていくためには、従来の農業振興策に加え、新しい時代に対応した持続可能な農業を確立していく必要がある。そこで、「基盤」「安全」「研究」「環境」という4つの分野で、すでに取組みを進めているIT農業に加えバイオマス資源を活用した取組みを展開することにより、ITとバイオマスを活用した新しい「とよはし型農業」を創造し、農業従事者の確保と地域経済の活性化を図る。



国際自動車産業交流都市計画(愛知県、豊橋市、蒲郡市、田原市、御津町) 特定PT

【概要】 世界のトップブランドカーが集結する日本一の自動車港湾「三河港」において、産学官ネットワークにより、生産ラインの見学や、メーカーからの直接新車購入など「来て・見て・楽しむワールド・モーター・ツーリズム」を展開し、海洋型テーマパーク・マリーナなどの地域観光と自動車産業とが連携する「自動車産業交流都市」の構築を進め、「世界からの集客交流」による地域産業競争力の向上を図るとともに、ワールドブランド「三河港 = PORT of MIKAWA」を世界に向けて発信する。そのために、陸海の交通体系の整備と公共施設の多目的化やバイオマス発電を活用した海洋浄化を進めるとともに、自動車産業をテーマとした地域一体による産業観光の展開を図る。



人と人、人と地域を結ぶグリーン・スパーク稲沢21(稲沢市)

【概要】 63haにも及ぶ広大な土地と名古屋の中心部など各都市へのアクセスの便に恵まれたJR稲沢駅周辺地域において、基盤整備を行い、安全で快適な居住環境の整備と活力ある業務集積を実現することにより、市街地の一体整備を図るとともに、稲沢の顔である植木に代表される「みどり」をテーマにしたイベント、かつて尾張の国府が置かれていた歴史と文化を継承していく事業などを展開することにより、新しい尾張西部の拠点として地域経済の活性化と雇用の創出を目指す。



愛知県内の地域再生計画



駅周辺のストックを活かした「歩いて暮らせる中心市街地にぎわい再生計画」 (一宮市) 特定PT

【概要】 駅周辺の中心市街地が持つ歴史・文化、交通、商業業務、公共サービスなどのストックを活用し、シンボルとなる駅ビル建設や周辺開発、電線地中化、道路、公園等の整備・再構築を進め、都市拠点としての「新市の顔づくり」、商業の活性化や各種イベントの開催、オープンカフェの設置等による「にぎわいの創出」、職、住、遊、学などの近接による「都心居住の推進」、市名の由来となっている尾張一の宮・真清田神社周辺の再生を図る「歴史を活かしたまちづくり」等の推進により、「歩いて暮らせる中心市街地にぎわい再生計画」を推進する。



中部国際空港を核とする知多半島観光再生計画 特定PT (愛知県、半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)

【概要】 2005年2月に知多半島常滑沖に中部国際空港が開港することにより新たに生じる人の流れと、愛知万博(2005年3月から9月)の開催によりさらに加速される人の流れを最大限に活かし、空港と豊富な観光資源を持つ知多半島が一体となって知多の魅力情報を発信し、トランジット客を含む観光客の誘致を行い、知多半島地域の経済の活性化と雇用の創出を図る。



交流湊つしま彩生計画 (津島市) 特定PT

【概要】 津島神社やその門前町として栄えた歴史あるエリアと津島駅を結ぶ一帯で構成する中心市街地は、基幹産業の衰退、地価の高騰、老朽化した住居等のため人口流出が続き、活気が失われ、既存のコミュニティも崩壊危機にある。津島駅や津島神社は津島市の顔であり、このエリアの賑わいの再生は市の活性化に大いに寄与するものである。そこで、町並みの修景、周辺道路の整備等のハード整備と地元コミュニティの再生のため空き店舗等のNPO等による利用や祭りを通じた市内外の交流を促すソフト面での展開により、活力ある中心市街地の再生を目指す。



愛知県内の地域再生計画



安城市再生基準AAA～安心・安全・安城のトリプルAを目指して～(安城市)

【概要】本市は、かつて「日本デンマーク」と呼ばれた農業先進都市であり、整然と区画された水田が市街地に広がり、本市の代表的な景観を形成している。この市街地周辺に広がる緑の田園風景と調和の取れた住・工エリアの整備を進めることにより、市民をはじめ定住希望者が安心・安全に暮らし、働くことができる、次世代以降も住み続けたいと希望する安城、「安心・安全・安城のトリプルA」の街を、JR安城駅をはじめとする主要4駅を拠点とし、住環境の整備を4拠点3地区で行い、かつての賑わいを創出することにより、地域の再生を目指す。



犬山城下町再生計画(犬山市)特定PT

【概要】中心市街地である城下町は、人口の減少・高齢化、地域商業の衰退などにより町の賑わいが失われつつある。このため、城下町地区では、犬山城や城下町の町並み、そこで培われてきた歴史・文化・伝統という地域の特性を生かし、「歩いて暮らせるまち 歩いて巡るまち」をコンセプトに、自動車交通量を抑制した魅力ある町並みづくりの実現を目指すとともに、その外縁部(市街化調整区域)では、住民の居住環境の向上や新規雇用の場の確保、さらには求心力を高めることで地域経済への波及効果を生み出す大規模商業複合施設を誘致することで、城下町の再生と市全域の活性化を目指す。



空・陸交通の玄関「こまき」再生計画(小牧市)

【概要】東名・名神高速道路や名古屋空港など全国のみならず世界の玄関を有する本市は、空・陸交通の要衝として発展を続けてきたが、近年では中心市街地の衰退、新交通システム桃花台線の経営不振、空港一元化に伴う影響など多くの課題を抱えている。このため平成15年3月に名鉄小牧線が名古屋都心部へ直結したのを契機に沿線において歴史的資産を活かした質の高い生活空間形成を進め、あわせて中心市街地の活性化事業、桃花台線沿線及び空港周辺地域の振興等に取り組むことで、小牧らしいまちの賑わいを創出し、地域経済の活性化を図る。



愛知県内の地域再生計画



大浜地区歩いて暮らせる街づくり事業(碧南市)

【概要】 当地区は、国の歩いて暮らせる街づくり事業のモデル地区であり、住工が混在・密集し、寺社等貴重な歴史資産が点在する風情ある町並みを形成しているが、狭い路地のため、建築基準法の規制により、建替え出来ないのが現状である。これを打開すべく、旧来の路地裏など、豊かな歩行者空間を創出できる資源を有効活用し、区画整理の手法によらないコンパクトで町並みを活かした整備と併せ、まちづくりの拠点となる遊休施設を有効活用し、安全に安心して歩いて暮らすことができ、人と人のふれあいを大事にする心豊かな都市空間の形成を目指す。



「産業観光資源を活用した地域づくり」計画(愛知県)特定PT

【概要】 愛知県地域では、これまで地域が一体となって産業観光の推進に取り組んできている。これを活かして間近に迫った愛知万博や中部国際空港といった2大プロジェクトがもたらす観光面の効果を最大にするとともに、これを地域にしっかりと定着させるために、ポスト万博を睨んで地域の産業観光資源の磨き上げと外国人観光客の受入をも視野に入れた地域づくりを展開する。



次世代を育む「笑顔でいっぱい」地域再生計画(高浜市)

【概要】 10代の犯罪の増加や若年世代のフリーター問題等が顕在化する中、子育て支援の一環として、青少年の生きる力や社会性の向上、自立を支援することについて重点的に取り組む。このため、勤労青少年ホームをこれから就労する中高生などの居場所として活用し、中高生などの社会性や自立の促進を図る。地域や勤労者、勤労青少年などとの関わりの中で、これから就労する若い世代の職業意識の向上や勤労青少年自身の職業意識の見直しにも繋がるなどの効果をねらうとともに労働意欲の向上による地域経済の活性化や地域雇用の創造を図る。



愛知県内の地域再生計画



子育て支援のまち再生計画(東郷町)

【概要】 東郷町では、土地区画整理事業の実施地域で若年夫婦の転入による低年齢児の増加が著しい。また、人口構成の若さから子育てに自信の持てない大人の増加が危惧され、保育園や小学校の整備が進められると同時に子育て支援策の実施が課題となっている。このため、補助事業により整備されたふれあい農園を小学校施設に転用し、児童館を併設した小学校をPFI手法により整備することで近接して整備する保育園と併せて子育て支援機能の集約化を図る。地域の特色である「子育ての町」としてきた従来の取り組みをさらに発展・連携させ新たな転入の促進と人々の融和で活力ある地域の再生を目指す。



暮らし楽々まちづくり(大口町)

【概要】 大口町は、人口2万1千人余り、名古屋市から18Kmに位置する農業と工業の調和した町です。町内には鉄道を始め、公共交通機関が無く、住民は自家用車に依存し、通勤と産業用の車が昼夜を問わず行き交っています。高齢社会に向けて住民の生活の足の確保と交通環境の改善を目指し、コミュニティバスの運行を中心としたまちづくりを行います。また、地域交通システムとバリアフリー構想を策定するために地域交通会議を設置し、住民、NPO、商工会、企業及び行政が協力してまちづくりTMO(仮称)がバス事業やイベント等を開催することで、地域経済の活力の創出と再生を目指します。



ハツラツ地域再生計画 - 笑顔づくり、仲間づくりでコミュニティの再生 - (三好町)

【概要】 本町は昭和30年代までの純農村、40年代からの自動車関連企業の立地に始まり、今では近隣大都市のベッドタウンへと変化してきました。現在は、いわゆる新旧住民、団塊の世代を始めとする地域カムバック住民、共働きの多い核家族住民、さらには明日を担う子供たちが増え続けており、コミュニティの再生、子育て環境の再生が急務となっています。そこで、町民自らの企画運営で町内全中学校区に設置を目指している総合型地域スポーツクラブがコミュニティ再生の契機となるよう、積極的に支援し「ハツラツさ」を創造し、地域の再生をめざす。



愛知県内の地域再生計画



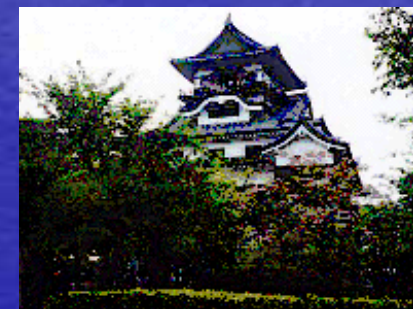
刈谷レストラーレ構想 (刈谷市)

【概要】平成16年12月に刈谷ハイウェイオアシス、19年4月に刈谷フローラルガーデンがオープンし、民間活力による魅力ある取り組みが期待されています。そこで、それらを活用し、南北のエリアにそれぞれ、「休日を過ごす空間」を創りあげ、工業都市刈谷の勤労者と地域との交流を図り、余暇を過ごし、人が集う「憩いの場」を創出します。そして周辺地域も巻き込んで、自然・風景・公園等の自然環境と地元文化財、人が生み出す創造性を活用し、散策やサイクリングを楽しむ様々なメニューを提供し、活力と魅力ある地域の再生を目指します。



観光・健康さあ行こう！みんな来る！来る！サイクルタウンいぬやま計画(犬山市)

【概要】今井開拓パイロット地区は、従事者の高齢化と兼業農家の増加により、農地の農業的利用の減少が進んでいる。一方、全域が国定公園に指定される豊かな自然に恵まれた環境にあり、周囲にはアミューズメント施設も所在し、交通アクセスも良く、県内有数の観光スポットである。自然活用イベントを新たに開催するとともに、農業体験をはじめとする都市と農村地域との交流施策の強化等に取り組むことで、交流人口を増やし、来訪者による物品購入、市内施設利用などにつなげていくことによって、地域の活性化を目指す。



「花いっぱい・元気いっぱいのまち 江南」再生計画(江南市)

【概要】藤・菊まつりで有名な曼陀羅寺やあじさいの音楽寺、花菖蒲のすいとぴあ江南などの花の名所を「花の駅」と名づけ、国営木曽三川公園(仮称)花き園芸植物園の開園を契機とし、コミュニティ・(イベント)バスで接続し、シーズン中には、花きや特産品の販売を始め、花に関するイベントなど地域の活性化の起爆剤となりうる様々な施策を進める。また、木曽川河川敷地区をサイクリングロード(遊歩道)で結び、市民や観光客の憩いの場とする。さらに、統合される新病院と駅などをコミュニティ・バスで結び、市民の足を確保する。



愛知県内の地域再生計画



桜と水の「五条川耕園」再生計画（岩倉市）

【概要】大都市近郊の住宅都市である岩倉市が地域再生を図るために、本市のシンボルである“桜と水の五条川”をネットワーク軸に、地域再生プロジェクトとしての中心市街地の再生、周縁部の良好な居住空間の創出、外縁部の農村的集落の活性化などを連携させることによって、全市域を身近な自然との共生による環境調和型のまちづくりを基本とする「五条川耕園」と位置付け、将来的な居住人口の確保と地域経済の継続的な発展を図りつつ、「質の高い生活都市」としての深化を目指すものです。



水郷の里“蟹江”再生計画（蟹江町）

【概要】蟹江川やへら鮎釣りで全国的にも有名な佐屋川をはじめとする河川、また天然温泉が湧き出る尾張温泉郷、名古屋市の隣に位置し、その水郷景観がどこかなつかしさを感じさせてくれる水郷のまち、蟹江。かつてこのまちを流れた豊かな水環境は、以来「東海の潮来」としていつくしまれてきた。川は、人々にうるおいを与えてくれる自然の風物であり、まちづくりの大切な要素である。このかけがえのない財産を、まちぐるみで守って次世代へ引き継いでいき、新しい“人と水との関わり”を育くみながら蟹江の水郷環境をよみがえらせ、地域の活性化を目指すため「水郷の里“蟹江”再生計画」を実施する。

